

さくらだより



長野市茶白山動物園

伝える力

病院長 福田 修

新年明けましておめでとうございます。今年も皆様またこの地域にとりまして、健康に恵まれますこと、ますます発展されますことを祈念申し上げます。

齋藤記念病院の基本方針の中に、職員間のコミュニケーションを良くするという項目があります。職員が一丸となり相互の連絡を密にすることが、良好な医療、患者さんを良くすることにつながることは言うまでもありません。

「愛は信じること。信じることは知ること。」の刻まれた石碑を目にしたことがあります、なかなか奥深い内容です。まず知ることから始まり、その知るといことが如何に大切かということでしょう。またベストセラー本の「家族という病」によると、家族の間でも知らないことが多いということは、信じたくはないことなのでしょうが、わかる気もします。どうしたら相手をよく知ることができるだろうか、正確に情報を伝達できるのだろうか、そのための雰囲気づくりはどうしたらいいのかなどと考えるわけですが、これがいつもなかなか難しいことです。

医療の場において、患者さんやご家族との、また職員同士のコミュニケーションの大切さは非常に重要です。患者さんとの会話はもちろん重要ですし、投書箱「心の窓」にもたくさんのアドバイスを頂戴しております。患者さんに関する申し送り、情報の伝達は、日常診療で非常に重要な位置を占めています。齋藤記念病院では、定期的にコミュニケーションに関する研修も行い、職員同士の意思疎通、またヒューマンエラーの回避に心掛けています。単に最小限の文言だけではなく、相手がわかるようにその状況・背景・評価・提案（SBAR）も含め詳しく話し、確認を取ることが重要です。当然他の業種でも通じるところです。皆様におかれましても、当病院はなんでも相談しやすい話しやすい環境を目指します。悩まないで、今年もどうぞご相談ください。

病院理念

*私たちは「患者さんに選ばれる病院」「職員が誇りを持って働ける病院」を目指します。

基本方針

- *私たちは自己研鑽に努め、安全で良質な医療を提供します。
- *私たちはコミュニケーションを大切にし優しく説明・対応します。
- *私たちは救急医療からリハビリテーション機能、在宅医療まで安心できる診療体制を充実させます。
- *私たちは医療機能を整備し経営改善に努めます。

齋藤記念病院 第22回院内学会開催

院内学会実行委員会 委員長 笠原知恵美

平成 27 年 11 月 18 日(水)14 時からコミュニティホールさわらびにて、第 22 回院内学会が開催されました。近隣の病院関係者を含め多くの方から参加がありました。発表演題は例年に比べ10題と少ないものの、発表内容は日々の業務から症例報告と多岐にわたるものと感じました。また、委員会等の活動報告の発表を聞き、日々取り組んでいる課題や改善点などを知ることができました。

さらに、特別講演があり、大変有意義な時間を過ごすことができました。

今後も、この院内学会を通して病院理念である、患者さんに選ばれる病院、職員が誇りを持って働ける病院を目指して進んでいきたいと思えます。



院内学会特別講演

「認知症になっても笑顔で暮らしたい」

— 病と共に幸せに生きていくための支援とは —

講 師 公益社団法人 認知症の人と家族の会
新潟県支部代表 金子裕美子氏



金子裕美子氏 プロフィール

1951 年糸魚川市出身。義父の認知症介護の大変さを経験し、1996 年、家族の会新潟県支部の発足にかかわる。2002 年支部代表に就任。夫が 17 年間の単身赴任生活を終え、自宅に戻るも束の間、2006 年 61 歳で脳梗塞を発症。左半身マヒと高次脳機能障害が残る。2011 年 2 月、実母も脳梗塞を発症。退院後は同居し、現在は 92 歳の父、91 歳の母、70 歳の夫を在宅介護中。

新潟県認知症対策推進会議、新潟県福祉サービス運営適正化委員会などの委員を務めている。

講演内容

義父の介護は、認知症の知識がなく苦勞の連続でした。夫の介護は我身を半分もぎ取られるような悲しみです。実母の介護は穏やかな日々を過ごして欲しいという祈りです。

脳梗塞患者の家族として、家族の会で出会った多くのご家族の苦しみの代弁者として、どのような支援があれば病と共に幸せに生きていくことができるのかを、一緒に考えたいと思っています。「認知症になっても笑顔で暮らしたい」この思いを大切に、願いを叶えることができる社会を目指して、日々活動中です。



リハビリテーション室紹介

理学療法士 古谷 貴宏

当院のリハビリテーション室は、理学療法士6名、作業療法士2名、言語聴覚士3名、マッサージ師1名の計12名のスタッフが勤務しています。

リハビリテーションという言葉はラテン語で、リ(再び)+ハビリス(適合させる・その人らしい)という言葉が合わさり、リハビリテーションという言葉が生まれました。

人は普段朝起きて、座り、歯を磨き、食事をして、オシャレをして、人と会話をします。いろいろな動きや考えが組み合わされて私達は生活しています。

怪我や病気により障害が起こると、その人らしい生活を送ることが困難になることがあります。理学療法士は起きる、座る、歩くなど基本的な動作、作業療法士は食事をする、歯を磨く、オシャレをするなど生活に繋げる動作、言語聴覚療法士は人とコミュニケーションをとる、物事を考える、食事をするなどの練習。マッサージ師は仕事やストレスなどで筋肉が硬くなり、血液循環が悪くなった部分に対してマッサージを行い、筋肉をほぐして痛みなどの軽減を行います。それぞれの専門職が人と人、人と環境を繋げるためにリハビリテーションを行っています。

当院では、患者様が再びその人らしい生活を過ごされるためになにが必要であるのか、どのようにしたら可能になるのかを他職種と連携し、患者様やご家族に寄り添うリハビリテーションを目指しています。

患者様1人1人の笑顔が見られるように日々リハビリテーションに励んでおります。ご相談・ご質問がありましたら、いつでもお気軽にリハビリテーションスタッフにお声かけください。



職員旅行を終えて

親睦会 会長 高橋 美雪

今年の親睦会の旅行には、74名の参加がありました。9月に赤城高原バーベキューと富岡製糸場見学、10月に戸隠神社と善光寺参拝、11月に福島県のハワイアンズの3コースでした。予定変更のあったコースもありましたが無事に終了する事ができました。

私は、今回初めてハワイアンズに行きましたが、車中も楽しく料理も美味しくとても満喫した2日間でした。来年度もアンケートを行い、職員から楽しんでもらえるコースづくりを引き続きお願いします。



消防避難訓練を行って

脳神経外科医師 小山 新弥

平成27年10月23日院内秋季消防避難訓練を実施いたしました。

今回の設定は、厨房から火災が発生して、日直事務が院内および消防署に連絡し、連絡を受けた各部署がそれぞれ初期対応、防火対応、避難を行うというものです。

厨房職員となぜか日直医の私が初期消火にあたりました。普段消火放水を使用することがないので、とても勉強になりました。あと、階段を人力で担送するのは想像以上に大変でした。火災が発生しないことを祈りつつも、備えあれば憂いなしです。



齋藤記念病院 外来医師診察予定

診療科		月	火	水	木	金	土	備考
脳神経外科		福田 修	福田 修	福田 修	小山新弥	福田 修	福田 修	
胸部乳腺外科		鬼頭隆尚	鬼頭隆尚	鬼頭隆尚	鬼頭隆尚	鬼頭隆尚	鬼頭隆尚	
整形・リウマチ科	1診		藤原稔泰	藤原稔泰	藤原稔泰	藤原稔泰		完全予約制
	2診	池田三香		池田三香	我田由紀子(第3木曜日は除く・第3金曜日は診察)			完全予約制
神経内科	1診		田村正人					午前午後診療14:00まで受付
	2診		小穴康功					第3火曜日のみ
	3診						小野寺 理	第2土曜日のみ

☆外来受付時間 午前8:30～11:30 ☆毎月第3土曜日を休診いたします。
 ☆診察日等に変更もございますので、電話にてお問い合わせ下さい。
 ☆胸部乳腺外科、整形・リウマチ科、神経内科は予約制となっております。お電話での予約又は変更等の問い合わせは、月・火・木・金の午後2:00～5:00の間にお問い合わせいたします。(☎025-773-5111)

齋藤脳神経外科 外来医師診察予定

診療科	月	火	水	木	金	土	備考
脳神経外科	齋藤有庸	齋藤有庸	齋藤有庸	齋藤有庸	齋藤有庸	第1土曜日 第2土曜日 第4土曜日	さいとう隆景 齋藤有庸 岩本俊彦
消化器外科 肛門外科	廣田正樹	廣田正樹	廣田正樹	廣田正樹	廣田正樹	廣田正樹	

☆外来受付時間 午前8:30～11:30 ☆午後の診察は行っていません。
 ☆毎月第3土曜日を休診いたします。
 ☆上記時間以外の救急診察は齋藤記念病院にご連絡下さい。



平成27年度休診日(日曜・祝日以外)

1月16日(土) 2月20日(土) 3月19日(土)

第11回南魚沼市縦断駅伝に参加しました

駅伝チーム代表 関 肇 (医事課)

10月25日に行われた南魚沼市縦断駅伝は、参加チームが107チームと過去最高を記録し、その中の1チームとして齋藤記念病院も参加しました。

結果は、男性の部で71位。去年より順位もタイムもよく、繰り上げスタートになることもなく、無事にスタートからゴールまでタスキをつなぐことができました。

当院の参加者は近年事務職が多かったのですが、今年は看護師からも参加者を選出でき、部署の垣根を越えて団結し走ることができました。

また、役員や送迎、応援の方々からも力を頂き、多くの方がつながることでタスキをつなぐことが出来たのではないかと思います。業務においても連携し、患者様にとっても職員にとってもよりよい病院にしていきたいと考えます。

選手・役員・応援していただいた皆様、お忙しい中ありがとうございました。



医療法人

齋藤記念病院

齋藤記念病院

〒949-6602 新潟県南魚沼市欠之上478番地2
 TEL 025-773-5111 FAX 025-773-3024
 病床数:118床/一般病棟70床、療養病棟48床
 診療科目:脳神経外科、胸部外科、乳腺外科
 消化器外科、肛門外科
 整形外科・リウマチ科、神経内科

URL <http://www.saito-memorial.com/>
 E-mail smh@mars.jstar.ne.jp

齋藤脳神経外科(診療所)

〒949-6603 新潟県南魚沼市川窪1158番地
 TEL 025-772-2350 FAX 025-772-7557
 診療科目:脳神経外科、神経内科、消化器外科
 肛門外科